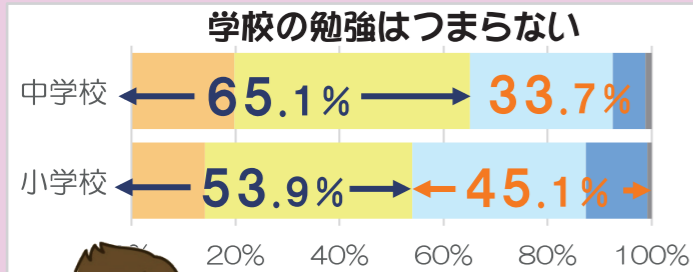
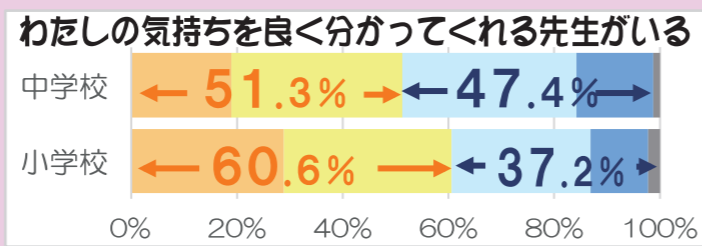
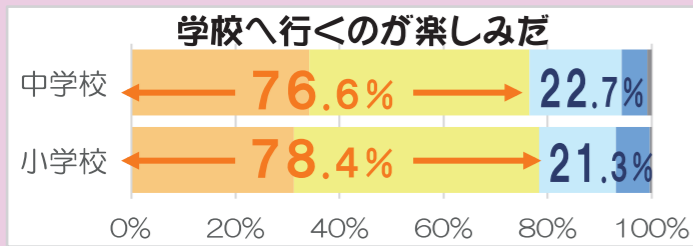


Q1

あなたは今の学校生活について、次のように感じることはありますか。

■ とても感じる ■ やや感じる ■ あまり感じない ■ 全く感じない ■ 無効回答等



学校生活のとらえ方はおおむね肯定的ですが、「勉強はつまらない」と感じる回答者、先生が自分の気持ちを分かってくれないと感じる回答者も一定程度いて、小学生よりも中学生にこの傾向が強くなります。思春期に生じる様々な葛藤を受け、支えてゆく姿勢の大切さを窺わせる結果です。

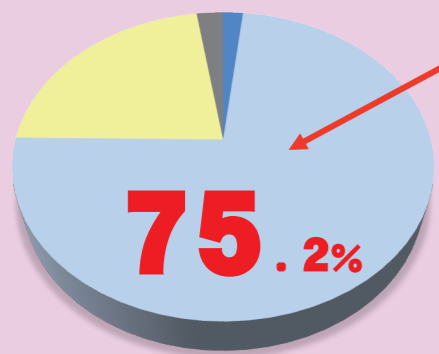


学校や家庭での生活は、子どもたちの心の安定に強く結び付いています。

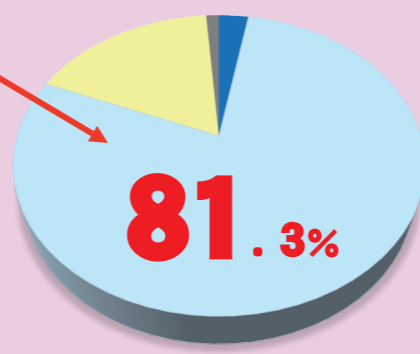
Q2

「意地悪や嫌なことをされる子にも悪いところがある」という考えについて、あなたはどう思いますか。

小学校 5・6年



中学校

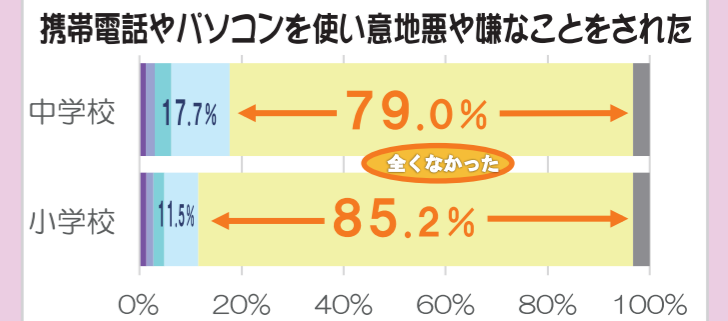
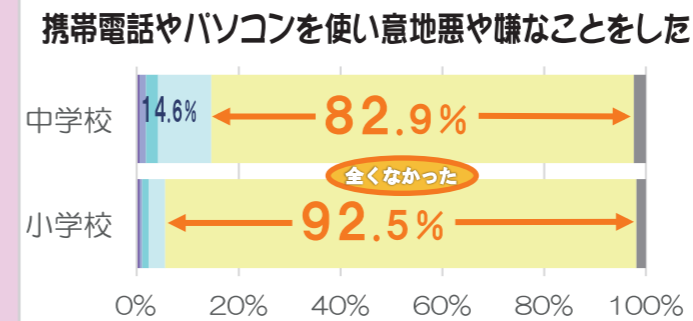
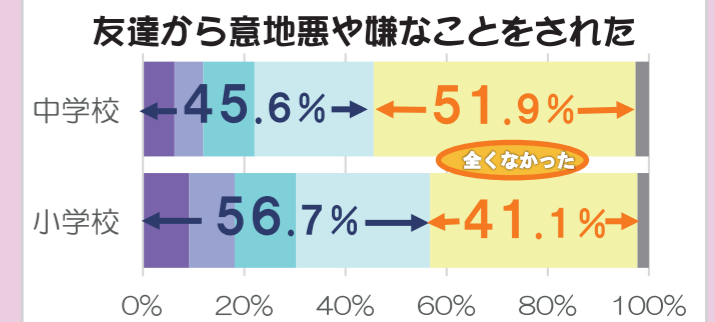
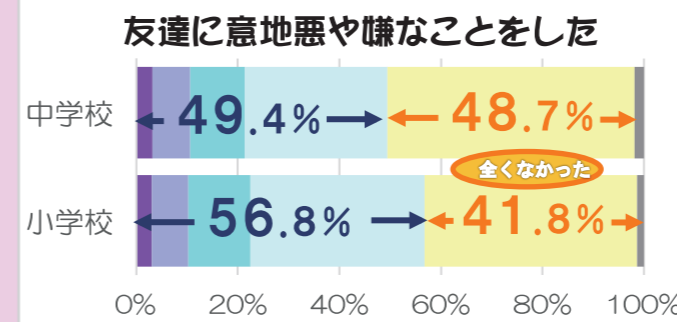


「意地悪や嫌なことをされる子にも悪いところがある」という考えについて、「場合によってはされる子が悪い」とする回答者が小・中学校とも多数を占めています。しかし、たとえ相手に悪いところがあったとしても、それを理由にいじめを容認することは許されません。いじめは**人権侵害**であり、いかなる事情があっても**許容されることはないのです**。この調査からは、「**場合によってはいじめられても仕方が無い**」という考えが根強いことが分かります。このような大人ももちがちな考え方をいかに払拭していくのが問われていると言えるのではないのでしょうか。

Q3

あなたは今の学年になってから、学校の友達から「意地悪や嫌なこと」をされた経験、あるいは「意地悪や嫌なこと」をした経験はありますか。

■ 1週間に何回も ■ 1週間に1回くらい ■ 月に2~3回 ■ 今までに1~2回 ■ 全くなかった

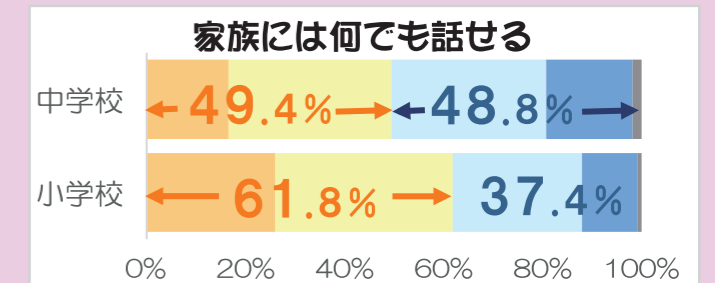
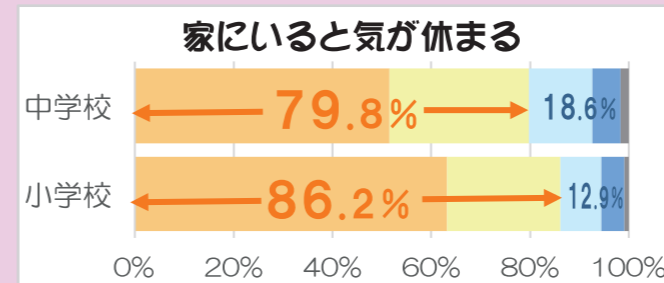


「意地悪や嫌なこと」をした・された経験を尋ねると、高頻度(1週間に1回以上)の経験者は1~2割程度で、いわゆる「ネットいじめ」的な経験がある回答者も少数です。他方で、今の学年になってから「月に2~3回」「今までに1~2回」加害・被害経験があると答えた回答者は1割弱~4割弱存在し、いじめにつながる経験が学校の日常と密接に結びついていることを窺わせます。「いじめはどの子どもにも起こりうる」という視点の大切さを改めて感じさせる結果です。

Q4

あなたは自分の家族について次のように感じることはありますか。

■ とても感じる ■ やや感じる ■ あまり感じない ■ 全く感じない ■ 無効回答等



多くの回答者にとって、家族は自分らしくいられる安心の場として捉えられていて、家の人との関わりも密でした。他方で家にも気が休まらない、など、家族との関係を否定的に捉える回答者がいる点が気になるところです。子どもにとって安心していられる場所を確保・提供する取り組みを社会全体で進めてゆくことが重要ではないでしょうか。